



# 東関東 営業所篇

## 水面に映る栄華の記憶

水運がもたらした江戸の富と文化

### 北総の小江戸・佐原

千葉県北東部の香取市にある佐原。江戸時代に利根川水運の中継基地として「江戸優り（えどまさり）」といわれるほど栄え、現在も小野川沿岸や香取街道には和風の商家や洋風建築など、当時の繁栄を偲ばせる伝統的建造物が残っている。このような歴史景観を保つため、建築物の保存再生を推進する佐原は、1996年に関東で初めて「国選定重要伝統的建造物群保存地区」（重伝建）に選定。さらには、国指定史跡として保存される伊能忠敬の旧宅、1914年に建築され千葉県指定文化財に指定される佐原三菱館、残したい日本の音風景100選に選ばれた小野川にかかるジャージャー橋など、歴史的価値の高い建築物がそこかしこに点在する。そんな佐原に観光に訪れたらぜひとも体験したいのが「小江戸さわら舟めぐり」。

江戸情緒あふれる佐原の街並みを遊覧船からのんびりと眺めれば、心はいつしか栄華を誇っていたにえの時代へ。



所要時間は約30分。通常料金は大人1,300円

国指定重要無形民俗文化財

### 「佐原の大祭」

関東三天山車祭りのひとつと称され、300年におよぶ伝統を有する「佐原の大祭」。日本三大囃子「佐原囃子」の音を市中に響かせながら、小江戸と呼ばれる街並みを家々の軒先をかすめながら進むさまは風情にあふれ、江戸時代の情景が眼に浮かぶかのよう。山車は総檜造りの本体に関東彫りの重厚な彫刻が飾り付けられ、上部には江戸明治期の名人人形師によって制作された高さ4mにもおよぶ大人形などが飾られる。八坂神社祇園祭である7月の夏祭りは小野川をはさんで東側（本宿地区）を10台の山車が、諏訪神社秋祭りである10月の秋祭りは小野川の西側二帯（新宿地区）を14台の山車が曳き廻される。なお「水郷佐原山車会館」には、夏祭りと秋祭りの山車が常設展示されている。祭りの時期を逃してしまった際は、ぜひとも足を運びたい。2004年に国指定重要無形民俗文化財に認定、2016年にはユネスコ無形文化遺産に登録された。世界に誇る佐原の大祭が、未永く続くことを祈りたい。



貴重な文化財を展示する水郷佐原山車会館

夏には10台、秋には14台の山車が佐原の街を練り歩く



「大日本沿海輿地全図」のはか伊能回の数々を展示

隠居からの勉学と全国測量の行程を紹介

近代日本地図の父の足跡を辿る

### 「伊能忠敬記念館」

50歳を過ぎてから日本全国を測量して歩き、史上初の実測日本地図をつくりあげた伊能忠敬。その人生を年代順に追い、偉業の結晶である伊能図を余すことなく紹介している。忠敬は50歳で江戸へ出るまで佐原の名主・村方後見を務め、家業では醸造業等を営んでいた。商才に長けていた忠敬は数十人規模の従業者を雇用し多業種の経営に成功。また、佐原の舟運の要である河岸問屋への税金に対して代表者として役人と交渉し不利益を抑えた。そのような統率力と行動力も、街全体の繁栄に大きく貢献したと考えられている。55歳から測量と天文学を学び始めた忠敬は、北海道南岸を皮切りに日本全国の測量を71歳まで続けた。地図としての精度を高めるべく、忠敬は日々あることを心がけていたという。それは、距離を計測する鉄鎖という道具自体の長さを点検すること。鉄製であつても摩耗でわずかに長さが変わるためだ。忠敬のストイックさと仕事にかける情熱には、頭の下がる思いである。

22代にわたり守り続けた製法

### 「油茂製油」

江戸時代から数百年にわたり受け継がれる「玉絞め」という古式搾油法に「たわり続ける精油の老舗」「いたすらに事業を拡大することなく」「玉絞め一番搾りごま油」を中心に生産しています。工場で使用している道具も大正年間から稼働しているものですし、ほぼ手作りといつても過言ではありません。本当に良いものを作り続けるためにこれからも手間ひまを惜しまず、常に最上を目指し続けます」と力強く宣言するのは、22代当主の並木茂徳さん。雑味の無い極上の「佐原の油」を、これからも守り続けていきたい。



並木茂徳さん(左)と母の恵美子さん(右)

勝海舟が身を寄せた佐原の酒蔵

### 「馬場本店酒造」

天和年間（1681〜1683）に始めた概屋がルーツと伝わる馬場本店酒造。1842年に5代目が酒造を始め現在に至る。明治15年に勝海舟が資金の借用を求めて身を寄せたのは有名なエピソード。当時を偲ぶ大吟醸酒「海舟散人」は、令和3年の全国新酒鑑評会で金賞を受賞している。古来より伝承の製法を守りながらも、時代に合わせた新酒の創作にも積極的に取り組む馬場本店酒造。その飽くなき向上心と探究心が、300年以上にわたり愛され続ける秘訣なのかもしれない。



代表の馬場善広さんと大吟醸酒「海舟散人」



昼夜でまったく異なる表情を見せる眺望は必見です！



ビルシステム東関東営業所の  
野原勇樹がご案内します！

## 我が街の ご当地自慢

### 千葉県民500万人を記念する 千葉港のシンボル

千葉市にオフィスのあるビルシステム東関東営業所からご紹介させていたたくのは、千葉県民500万人突破を記念して1986年6月15日にオープンした千葉ポートタワーです。周辺には幕張新都心や稲毛の浜、国内有数の国際拠点港湾に指定されている千葉港などの京葉工業地帯が広がり、東京湾アクアラインや東京スカイツリーなど東京湾を一望することができます。とくに夜景の眺望は素晴らしく、地上105mにあるポートタワー2階は2011年に「恋人の聖地」に選定されました。このフロアの「サンセットフロムナード」には、そんな二人の愛を誓う南京錠をロックするフェンスのほか「恋人の聖地」認定を記念したモニュメントが展示されています。2012年には「日本夜景遺産」に認定された千葉ポートタワー。ぜひ、大切な方と足を運んでください。



新鮮な海の幸は絶品！



愛の南京錠は1階の売店と  
3階のレストランで販売中

#### イチオシ地元グルメ

房総白浜から直送された魚介類をはじめ、新鮮な海の幸を落着いた雰囲気なか楽しめる『乙浜』さん。とくにランチタイムは価格もリーズナブルで、どのメニューも絶品です。おすめはやっぱり刺身定食。旬の魚だけでなく、運がよければ貴重な鯨のお刺身を味わうこともできます。

2018年にエレベーターを  
リニューアルした千葉ポートタワー



#### Information

伊能忠敬記念館  
千葉県香取市佐原イ1722-1  
TEL 0478-54-1118

小江戸さわら舟めぐり  
運営元：株式会社ふれきめら  
千葉県香取市佐原イ1730-3  
TEL 0478-55-9380

油茂製油  
千葉県香取市佐原イ-3398  
TEL 0478-54-3438

馬場本店酒造  
千葉県香取市佐原イ614-1  
TEL 0478-52-2227

筑波宇宙センター  
茨城県つくば市千現2-1-1  
https://fanfun.jaxa.jp/  
visit/tsukuba/

千葉ポートタワー  
千葉県千葉市中央区  
中央港1丁目  
TEL 043-241-0125

浜料理 乙浜  
千葉県千葉市中央区  
富士見2-4-13  
TEL 043-225-4624

#### 三菱電機ビルシステム事業本部ビルシステム東関東営業所

##### これからお客様と誠実に向き合いながら

三菱電機ビルシステム事業本部ビルシステム東関東営業所は、少人数ながら、ファミリーのようなあたたかい雰囲気をそのままにお客様へ心のこもったソリューションをお届けするよう日々努めております。昇降機はもちろん入退室システム等のご要望にもお応えしてまいりますので、今後ともよろしく願いいたします。

千葉県千葉市中央区富士見2-3-1 TEL 043-201-2955



## 宇宙がもっと身近になる！

# 筑波宇宙センターで憧れの世界を体験

2022年に開設50周年を迎える筑波宇宙センター。ここではJAXA（宇宙航空研究開発機構）が推進する、人工衛星の開発・運用およびその観測画像の解析、宇宙環境利用や宇宙飛行士養成と活動推進、ロケット輸送システムの開発と技術基盤確立のための技術研究推進などを担い、日本における宇宙開発の中枢センターとしての役割を果たしています。そんな筑波宇宙センターのもうひとつのミッションが、多くの人に宇宙をもっと身近に感じてもらうこと。一般の施設見学（展示館「スペースドーム」は事前予約制）を受け入れており、巨大なロケットや人工衛星の実機などを間近で見ることができます。さらには、ちよつと気になる宇宙食の秘密や、宇宙にまつわるお土産などを紹介します！

### テレビで見たあの 人工衛星が目の前に！

展示館「スペースドーム」では00〜11のセクションに分け、人工衛星の実機や試験モデル、1/20スケールのロケットなどが展示されています。宇宙に浮かぶ人工衛星はとて小小さく見えますが、実物を目の前にした瞬間、誰もがその大きさに圧倒されることでしょう。



1.宇宙ステーション補給機「こうのとり」の試験モデル。思わず口を開けて見上げてしまうほどの迫力！  
2.国際宇宙ステーション「きぼう」日本実験棟の実物大モデル。宇宙服のレプリカも展示されています。



月周回衛星「かぐや」の試験モデルや、小惑星探査機「はやぶさ2」の原寸大モデルも。

## 宇宙食の味は？ 真っ白のジグソーパズルとは？

宇宙では顔がむくみ鼻の通りが悪くなるため、スパイシーにする等の工夫をしているとのこと。また、無重力空間では食べるのにも「苦勞」液体はふわふわと飛び散らないようろみをつけているそうです。またぜひ試していただきたいお土産が「宇宙パズル」。実際に宇宙飛行士の選抜に用いられたこともあり、忍耐力をテストするものなのだから。真っ白で完成イメージがわからないパズル。確かにメンタルの強さが試されるそうです。



我慢強さに  
自信の  
ある方はぜひ！

### ●筑波宇宙センター広報部より

宇宙という遠い存在に思われてしまいがちですが、実は私たちの生活ととても密接な関係があります。たとえばカーナビのGPSは宇宙の人工衛星から発せられた電波を利用してしますし、防災グッズの銀色のブランケットは人工衛星を覆う断熱材を応用したものです。また、缶チューハイの表面がゴツゴツしたアルミ缶。宇宙機に使用する金属素材は、強度を確保しつつ軽量化しなければならぬという観点から開発された形状がスピンオフして飲料缶に応用されたそうです。そんな宇宙と生活とのつながりをもっと多くの方に知っていただけたらうれしく思います。そして、宇宙を身近に感じていただくことで、JAXAを目指す人が一人でも増えてくれることを願っています。



新しいことに挑戦し続けたプロジェクト

三菱電機(株) 稲沢製作所  
エスカレーター製造部  
エスカレーター開発課 専任  
西 正弘

品質はもちろん環境に配慮したエスカレーターを  
三菱エスカレーター「uシリーズ」の開発が始まったのは2018年。プロジェクトの取りまとめ役を担ったのは、2014年からタイのグローバルマーケット向け生産拠点三菱エレベーターアジア社(以下、AMEC社)で技術指導などを行っていた西。uシリーズは海外市場をにらみAMEC社で開発することが決まっていたことから、現地での経験豊富な彼が抜擢された。今回のuシリーズ開発においては、ユーザーニーズに応え、より満足度の高いエスカレーターを実現するため、グローバルに綿密なマーケティングが行われた。

「さまざまな国や地域ではどのような製品が求められているのか。それを知るため、世界中の70を超える代理店などにアンケートを行いました。結果は非常に興味深いものでした。たとえば、アメリカやヨーロッパ諸国は安全性や信頼性はもちろん省エネ性を非常に重視します。一方、原油産出国では省エネ性にそれほどこだわりません。そのような個別のニーズを満たしつつこれからの時代にふさわしいエスカレーターとは——そんなテーマのもとたどり着いた答えが、安全性、信頼性、省エネ性に加え、持続可能な社会の実現に貢献する、環境負荷に配慮したエスカレーターでした。」



わずかな気付きが解決への大きなヒントに

三菱電機(株) 稲沢製作所  
エスカレーター製造部  
エスカレーター開発課 専任  
井上 昭彦

環境負荷低減に向けて取り組んだのは、エスカレーターの徹底的なダイエツトだった。その難題に取り組んだのは、入社以来貫いてエスカレーターのトラス(構造全体を支えるフレーム)の開発に携わってきた井上。

「トラスはエスカレーター全体の質量の約1/4を占める部材ですので、この材料を減らすことができれば環境負荷の大幅な削減につながります。しかし、材料を削減するだけでは安全性の損失につながりかねません。そこで、

当社の先端技術総合研究所と解析を重ね、構造の最適値を求め続けました。あるとき、解析結果よりトラスの剛性を上げる有効的なレイアウトへのヒントを見つけ、新構造のトラスレイアウトが具体化されていきました。その結果、強度剛性を確保しつつ国内向けでは従来機種比で約27%の材料を削減することができました。」

また、材料の削減とともに小型化したことも、uシリーズのトラスにおけるトピックのひとつ。そのメリットを井上はこう話す。「エスカレーターは、小は大を兼ねるものであり、多くの利点があります。建築デザインの自由度が向上したり、従来のエスカレーターが取り付けられないような狭い建物でも設置できる可能性が高まります。また、モダン化・デザインにおいてもuシリーズなら対応できる幅が広がります。」

さらに、安全性の強化に向けた画期的な改良点も。トラスレイアウトをゼロから設計する機会を積極的に活用し、uシリーズではデッキボードを従来の機種より130mm高くした「乗り上げ防止構造」を新たに採用しました。これは人間工学の観点から、人は膝より高い位置(約300mm)には足をか

～ ミッション遂行の軌跡 ～

# 三菱エスカレーター u series

## 「挑戦」と「革新」に彩られた 新型エスカレーター開発の舞台裏

2020年に発売した三菱電機の新型エスカレーター「uシリーズ」。ネーミングの由来は、ユニバーサル(universal)、ユーザビリティ(usability)の頭文字。その名の通り、誰もが使いやすく誰に対してもやさしいエスカレーターを目指し、安全性、省エネ性、省スペース性ととも環境負荷低減にも配慮した。またuシリーズの開発は、稲沢製作所の品質保証部が推進する新たなフロントローディングの手法を取り入れた開発の第1号でもある。アジア生産拠点での開発、コロナ禍の影響、そして新たな開発プロセス——未体験のプロジェクトを4人のキーマンが振り返る。



## Safety

お子様からお年寄りまですべての方に安心してご利用いただけるよう、スムーズな乗降をサポートするさまざまな機能を標準装備しています。

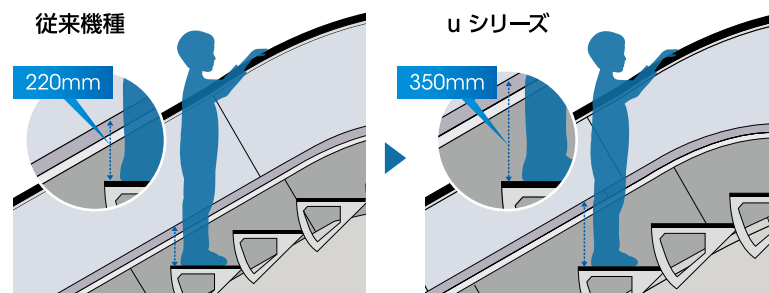
### スローストップ機能

安全装置が作動して緊急停止する場合も、利用者の安全を配慮してインバーターによる制御で緩やかに停止。緊急停止によるつまずきや転倒を低減します。さらに、機械式スローストップ機能(有償付加仕様)では、インバーター制御による減速が作動しない停電時でも、駆動機部の慣性を用いることで、機械的に緩やかに停止することができます。



### 乗り上げ防止構造

デッキボードを人間工学に基づき国内向け従来機種(Zシリーズ)より約130mm高くしました。これにより、デッキボードに足を掛けることによる乗り上げを抑止し、利用者の安全性を向上させます。



※国内向け従来機種(Zシリーズ)との比較

人と人とのつながりを  
得られたことが収穫

三菱電機(株) 稲沢製作所  
エスカレーター製造部  
エスカレーター開発課 専任

森上 敦史

けにくいと考えられており、uシリーズに採用した350mmのデッキボードは安全性の向上に大きく寄与すると考えます」と井上は胸を張る。

### さらなる安全性と 省エネを求めて――

三菱電機が最も大切にしている安全性においても、新製品にふさわしい進化を遂げている。電気システムの開発を担った森上が代表的な新機能を説明する。

「同じ昇降機でもエレベーターは異常が発生した際はすぐに止めることが基本ですが、エスカレーターは急に止めると利用者を転倒させてしまいます。そのため従来から採用していたインバーターによる制御で緊急停止による転倒を防ぐ『スローストップ機能』を受け継ぐとともに、『機械式スローストップ機能』をオプション設定しました。これは駆動機部の慣性を用いて機械的に緩やかな停止を実現するもので、インバーターが機能しない停電時にも有効です。停電が多い電力供給の不安定な地域に対して、より大きな安心を提供します」。

アメリカヨーロッパ、そして日本な

どの国々が重視する省エネ性にも抜かりはない。「先に述べたインバーターのほか、利用者数に応じて速度をコントロールする『省エネ運転モード』、下りで一定以上の利用者がいる際に回生電力を発生させる『回生コンバーター』を基本仕様として搭載しています」と森上。さらには、製品カタログにも掲載されていない進化があるという。

「従来機種にもLED照明を採用していましたが、uシリーズにはより消費電力の少ないものを使用しています。また、LED照明については、見え方にもこだわりました。従来はエッジタイプのLEDをつなぎ合わせていたのですが、継ぎ目のないテープタイプのLEDを採用することで、スマートな見た目になりました」と森上。

### あるはずのものがなく、 できるはずのことができない

安全性、信頼性、省エネ性と、世界から寄せられたリクエストにことごとく応えたuシリーズ。開発の道のりは、決して平坦ではなかった。プロジェクトメンバーの頭を悩ませたものとは――。

「最も苦労したのは、やはり生産拠点のAMEC社がタイにあることで

した。たとえば、エスカレーターの製造に用いるボルトや鉄板など、日本なら普通にあるはずのものが手に入らなかったり、できるはずのことができないといった問題に直面したのです。まずは、現地で何ができるのかを把握し、タイで生産するための設計を行う必要がありました」と開発の取りまとめを担った西は語る。

それに追い打ちをかけたのが、2020年初頭に始まったコロナ禍。海外への渡航が困難になり、現地で直接指導することが不可能に。「現地へ支援に行くことができないので、Web会議システムなどを利用して密なコミュニケーションを心がけ、技術的な指導においてはヘルメットにヘッドカメラを装着してもらい、その映像を見ながらアドバイスを送ったりもしました」と振り返る西に、井上がこう続ける。「今回は実機による検証ができないため、新しい試みとして3Dモデルを用いて開発の上流段階で構造の作り込みができたため、スムーズな開発に大きく貢献したと思います」。

### 稲沢製作所に吹いた 攻めんとローディングという新しい風

さまざまな困難に直面しながらも、新たな試みと技術者一人ひとりの努力によりスピード感を保ちながら進んだuシリーズの開発。その推進力の源といつても過言ではないのが、品質保証部がこの開発で推進する攻めんとローディングだ。攻めんとローディングとは、各部門を巻き込んだ攻めの上流改善活動(意識改革+フロンローディング)である。この手法を提案した品質保証部は「自信を持った

製品を期限通りお客様に届ける」の活動理念のもと、攻めの姿勢で開発工程の最適化に挑んでいる。立ち上げのきっかけを、同部の内木に聞いた。

従来の製品開発では、開発部門が開催する製品仕様やコストスケジュールなどを審議する会議で初めて関係部門(検証、品質管理、工作、資材、据付など)が参画する状態でした。これは開発上流で品質を作り込むことの重要性の認識や意識が希薄である表れだったと言えます。攻めんとローディングは、品質保証部が関連部門の活動を繋ぐ『接着材』となることで部門間のコミュニケーションを活性化し、開発工程の効率化はもちろん、各部門の意識を改革することが狙いでした。新製品の開発や新しい試みに対して各部門が得意分野を活かしながら、開発上流段階でチームとしての地盤を固めていく――そんなモノづくりのあるべき姿を目指したのです」。

今回の三菱エスカレーターuシリーズは、そんな攻めんとローディングを用いて開発された最初の製品。これまでに経験したことのない開発プロセスを、開発取りまとめ役の西はこのように感じたという。

「個人的にはウェルカムでした。これまでは開発部門が動くまで、その他の部門が動いてくれないことにジレンマを感じていたことは否めません。攻めんとローディングでは企画段階からすべての部門が入って問題点やリスクを潰していくため、全工程を、自分事と捉えながら開発に参画することができる。開発工程の短縮はもちろん、品質向上にも貢献するはずです」。

西の言う通り、効率化への効果は

大きかった。内木は「完成度の高い製品仕様の作り込みと3Dモデルでの検証による相乗効果により、試作の回数が従来機種の1/4にまで削減されました。開発工程を短縮するだけでなく、無駄なコストを省く意味でも、この効果は非常に大きかったはず」と確かな手応えを感じている。

### さらなる高みを目指して―― これからも挑戦し続けていきたい

プロジェクトに関わったすべてのメンバーに、多くの経験と知見をもたらしたuシリーズの開発プロジェクト。最後に、4人のこれからの目標を語ってもらった。

内木：攻めんとローディングにより、uシリーズの開発を理想の形で推進できたことは大きな自信につながりました。世界中でエスカレーターに対するコスト意識が高まり、これからの新たな技術開発が進んでいく中で自分もそれをしっかり検証できる技術を磨いていきたいと思います。

森上：uシリーズの開発を通じてAMEC社との関係性が強化されたことはもちろん、攻めんとローディングにより社内の部門間における理解

### 開発プロセスの あるべき姿を求めて



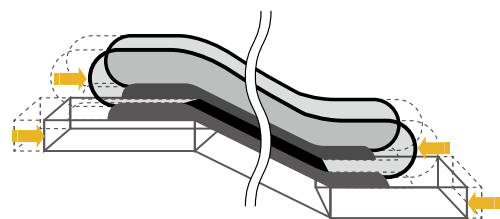
三菱電機(株) 稲沢製作所  
品質保証部  
新製品検証二課 専任  
内木 浩太

## Flexibility

大幅な小型・軽量化により、環境負荷低減を実現したトラス。  
さらに、乗場前の有効スペースの拡大など、建築デザインの自由度が向上します。

### トラスの小型・軽量化

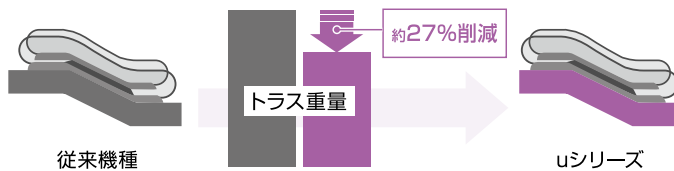
ステップ経路や機器設置を最適化することでトラス寸法を従来機種比で約6%短縮。構造最適化(トポロジー)ツールを用いて使用材料を大幅に削減しながら、従来と同等の強度・剛性を確保しつつトラス重量を従来機種比で約27%軽減しました。



国内向け従来機種(Zシリーズ)の同仕様と比べ

上下部機械室長さ合計  
約6%短縮

乗降部欄干長さ  
約400mm短縮



国内向け従来機種(Zシリーズ)の階高5mと比べ

トラス重量  
約27%削減

製造廃却時CO<sub>2</sub>排出量\*  
約1.38t/台削減

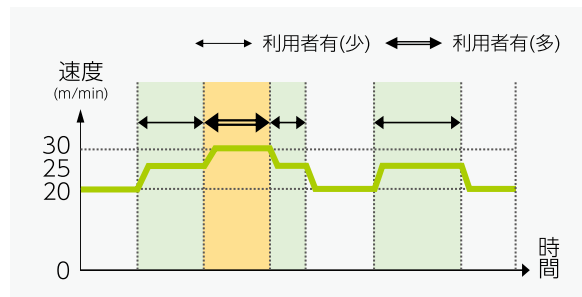
\* 高炉(2.3ton CO<sub>2</sub>/ton 鉄)にて鉄鉱石を精製。鉄鉱石→製鉄所及びスクラップ→製鉄所への輸送時CO<sub>2</sub>排出量は考慮しない場合。(当社調べ)

## Ecology

低負荷時のモーター効率を上げるインバーターを標準装備。  
省エネ運転、照明のLED化など環境に配慮した先進機能を搭載しています。

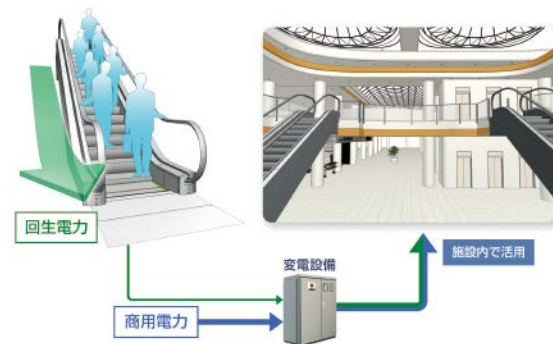
### 省エネ運転モード

センサーで利用者の混雑度を検出し、利用者数に応じた速度コントロールを行います。多いときは30m/min、少ない時は25m/minで運転し、利用者がいない場合は20m/minまで速度を低減。快適性を損なわずに省エネ効果を発揮します。



### 回生コンバーター

下り運転時、一定以上の利用者がある場合に回生電力を発生。回生コンバーターの採用により、この回生電力を抵抗による熱で消費せずに、建物内の電気設備に有効利用することで省エネを実現します。



## スマホで呼び出すエレベーターの新しい乗り方を体感

行先階を登録しておけば、操作盤のボタンを押す必要もありません。



※スマートフォンサービスのご利用には三菱電機ビルテクノサービス(株)とのご契約が必要です。

スマートフォンアプリを使用して、エレベーターを呼び出し、行先階を登録できる機能や、事前に目的階を登録することでハンズフリーでエレベーターを呼び出すことができる「スマートフォンサービス」。最初は半信半疑だった取材班も、沼田さんのデモンストレーションを見て納得！ハンズフリー運転ではエレベーターに近づいただけで「呼び」が登録されて便利です。



## 機能の進化にとどまらないデザインの深化にも感動！



AXIEZ-LINKsの開発でとくにこだわったという意匠面。視認性の高い業界最大クラスの10.1インチ大内液晶インジケーターや、乗場ボタン一体型インジケーター、さらには4つのスタイルをコンセプトとしたカラーラインアップ。標準形エレベーターとは思えないほどデザイン性の高い天井や手すりなど、見ているだけでワクワクしてしまいます！

「視認性や質感を、ぜひ実機を通じて体感してください」と浦上さん。



## ビルの中間階なのに天井の上が青空!?



ファシリティゾーンに気になる新しい展示物が。それが、空が青くなる現象を模した青空照明「misola(みそら)」です。実際に目の当たりにすると、本物の青空との識別は困難。さらに驚くべきことに、時間に応じて朝夕景や夜景を映し出すことも可能。こんな照明、わが家にも欲しい！

まるで自然光を浴びているかのようにリラックスしてしまいます。

## 取材を終えて

確かに、着実に、進化を続けているエレベーター・エスカレーター。それを一人でも多くの人に体感してほしいと願う沼田さんと浦上さんからのメッセージを最後にお届けします。「こんなご時世ですが、ひとつでも多くの製品を見て触れてご検討いただけたらと思います。感染対策には万全を期していますので、ぜひご来場ください！」(浦上)。「AXIEZ-LINKsはデザインや機能で建物の価値向上に貢献します。実際に見ていただくのが一番なので是非M's stationにてご体感ください！」(沼田)。

ele取材班がゆく!

三菱電機ビルテクノサービス / M's station

## AXIEZ-LINKs 発売に合わせて 昇降機の新設ゾーンをリニューアル!

三菱電機ビルテクノサービス  
昇降機新設事業本部の  
沼田和樹さんと浦上淳一さん  
にご案内いただきました。



エレベーター、エスカレーター、空調機、ビル設備管理システムなどの実機に触れられる体験型ショールーム『M's station』。2020年10月に誕生した三菱電機の標準形機械室レス・エレベーター「AXIEZ-LINKs(アクセス・リンクス)」の発売に合わせて、新設ゾーンが装いも新たにリニューアルされました。注目の新機能からこだわりのデザインまで、見どころ満載です！

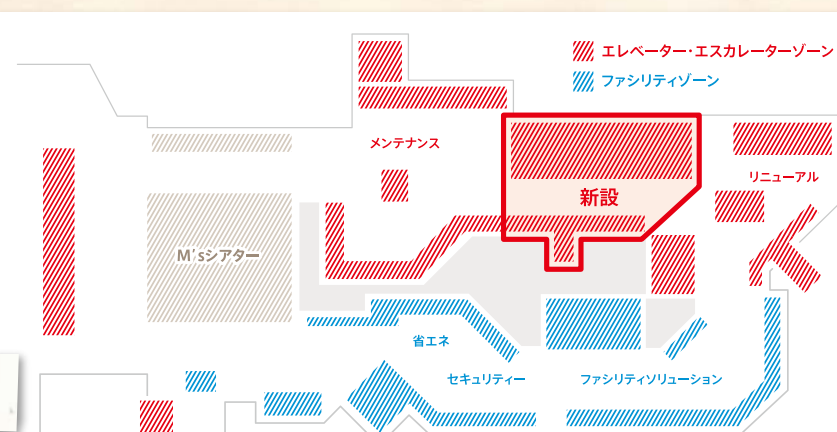
三菱電機ビルテクノサービス「M's station」  
〒116-0002 東京都荒川区荒川7-19-1 (システムプラザ)  
エムステーション 検索

ご来館をご希望の際は、最寄りの営業窓口にご連絡ください。

## 三菱昇降機の「今」を発信するM's stationの全容

M'sシアターを起点に、エレベーター・エスカレーターとファシリティのゾーンに分かれたM's stationのフロア。今回フォーカスするのは前者の新設ゾーン。実機に触れながら、たっぷりと取材させていただきました。

新設ゾーンをじっくりとご紹介します！



## 時代が求める“安全・安心”に最善の備えを

エントランスには体温はもちろん、マスクの着用を判別できる最先端の検温機を設置。さらには、三菱電機が開発したアニメーションライティングにより適切な距離の確保を促します。また、昨今需要が急激に高まっているエスカレーターの手すり抗菌コーティングも、実機をもとにご紹介されていました。



エントランスだけでなく、館内にも同じ検温機が数台設置されています。

## ビルシステム事業の再編に伴う当社連結子会社との 会社分割（簡易吸収分割）に関するお知らせ

三菱電機株式会社のビルシステム事業本部と  
三菱電機ビルテクノサービス株式会社が2022年4月に経営統合し、  
「三菱電機ビルソリューションズ株式会社」  
として新たに生まれ変わります。

三菱電機グループでは、このたび、5つの重点成長事業を選定し、「ビルシステム事業」と「空調冷熱システム事業」についても、同グループの成長の牽引役として集中的に経営資源を投入し、事業規模の拡大とさらなる経営的な成長を目指していくこととなりました。

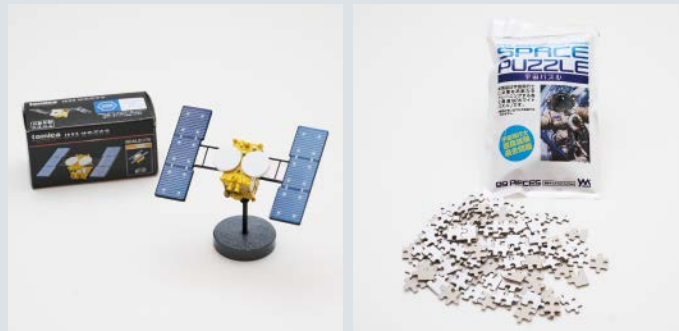
このたびの経営統合により、昇降機とビルシステムの開発・製造から新設・メンテナンス・リニューアルまで一貫した事業運営体制を実現するとともに、両社がこれまで培ってきたビル設備のコアコンポーネントや、メンテナンス・運用管理のフィールドナレッジ・データを活かした新たなソリューションをワンストップで提供し、脱炭素社会の実現等、各種社会課題の解決に貢献してまいります。



詳しくは下記URLまたは左の二次元コードより  
2021年10月18日付の当社報道発表をご覧ください。  
<https://www.mitsubishielectric.co.jp/news/2021/bill.html>

## Presents!

添付のアンケートにお答えいただき、キーワードクイズの解答をご記入ください。正解者の中から抽選で2名様にJAXAオリジナル「トミカ JAXAはやぶさ2」と宇宙飛行士のトレーニングにも使われるホワイトパズル「宇宙パズル」のセットをプレゼントいたします。奮ってご応募ください！



応募  
締切

2022年3月末日消印有効

当選者の発表は賞品の発送をもって代えさせていただきます。  
※当選者の方にはメールにてお知らせいたします。

## Keyword Quiz

キーワードクイズ

### Question

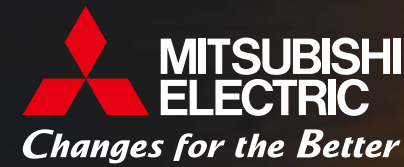
誰もが使いやすく、誰に対してもやさしいエスカレーターを目指して開発された、三菱電機の新型エスカレーター「uシリーズ」。環境負荷低減に向けて、大幅な小型・軽量化が図られたエスカレーターのフレームとは？カタカナ3文字でお答えください。

### Answer




ヒント

P11～P14の「ミッション遂行の軌跡」に  
答えが隠されています。



みんな社会と、触れ合いたい。

そのための、触れない技術、なのね。

## チームで拓く。三菱電機

三菱電機は、非接触技術を活かして、  
安心して暮らせる  
社会環境づくりに貢献します。

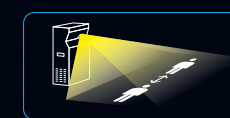
以前のように気軽に出かけたい。人と会いたい。でも不特定多数の人が触れるものには、できれば触れずに済ませたい。安心して過ごせる新しい日常のためのこれからの技術、それが非接触技術です。例えば、空中に浮かび上がった映像にタッチし直接触れずに操作できるディスプレイ。近づくと自動的にスマートフォンで呼び出し指定階まで運んでくれるエレベーター。この他、床面に投影した光のアニメーションで混雑を避けるよう注意喚起するシステムも。三菱電機は、多様な技術力の強みを活かして、安心して快適な非接触社会の実現を目指していきます。

### 触れない社会を支援する三菱電機の非接触技術



#### アニメーション ライティング誘導システム

光のアニメーションで床面に人や矢印などの図形や文字を表示し注意喚起や行き先案内をすることで混雑の回避や円滑な移動を促します。



#### エレベーター・ スマートフォンサービス

スマートフォンアプリでエレベーターを自動で呼び出し予め指定した階へボタンに触れずに移動できます。  
※乗降機を設置していない階については、アプリの操作でエレベーターの呼び出しと行先階を指定することが可能です。



#### 空中タッチディスプレイ

空中に表示される映像をタッチパネルのように指先で操作できる非接触型のディスプレイ。横からのぞき見できない構造なのでセキュリティ面も安心です。  
※画像は合成により表現しています。



# 未来へ、先進技術を結集せよ。